

岡本 幹男 議員

袋井市内の全橋梁の点検は

問 袋井市内922橋の「5年に一度の近接目視」による点検を急ぐ必要はないか。

答 平成28年度までに461橋の点検が実施され、約6割の276橋が健全、予防保全措置の望ましい橋が173橋、早期措置が必要な橋が10橋、緊急措置が必要な橋が2橋となっている。



近接目視による橋梁点検

子育て支援策としての

保育施設の運用は

問 平成30年度の待機児童解消に向け、認証保育所の認可化に向けた運営費支援など定員増を図る計画はあるか。

答 認証保育所MOE保育園てんじん園の平成30年度からの定員60人での認可化、小規模保育施設の定員拡大などを進めていきたい。

命山の公園施設の充実は

問 平成28年度までに全ての本体整備が完了した命山に、平時の公園としての利用のため、遊具や防災用具の収納箱を兼ねたベンチを設置すべきではないか。

答 湊西命山、東同笠・大野命山についても他の命山と同様、遊具としての滑り台、防災用具を収納できるベンチなどを設置していきたい。

鈴木 弘睦 議員

住宅宿泊事業法への対応

問 民泊新法が成立したが、袋井市として民泊の推進をどのように捉えているか。

答 現在、エコパでのスポーツ観戦やふくろい遠州の花火など、県内外から多くの方が袋井市を訪れているが、市内には宿泊施設が少ない。そうした意味からも、民泊新法を活用して行くことは地域経済の発展のためにも必要なことだと考える。

袋井市のふるさと納税制度

問 総務省からの通知後の対応についてはどうか。

答 本年度から4割程度の返礼割合を3割5分くらいに変更し、高額返礼品については「ふるさとチョイス」での取り扱いをやめていた。通知を受け、今年度末までに返礼割合を3割以下へ引き下げていきたい。

宇刈川の整備

問 防災減災対策としての河川整備の必要性はどうか。

答 県が太田川水系全体の整備状況や浸水被害の状況を考慮し、優先順位を付け整備を実施している。しかし、浸水被害の出ている春岡地区下流部については未整備な状況であるので、県に対して河川改修を強く要望していきたい。



宇刈川の堤防（春岡地区）